

大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会  
平成 27 年度方針（案）

平成 27 年 3 月

- 協議会開催（4 回程度）会場は神戸・大阪・京都を想定  
開催時期は 6 月・9 月・11 月・2 月を想定。
- セミナー（協議会とセットで 1 回・被災自治体及びゼネコン JV）  
9 月の協議会とセットで
- 現地視察
  - ・福島県相馬市を想定（仮設焼却施設及び現地での仮置場・分別見学→max50 名）
  - ・キルン保有施設及び廃家電処理プラント（近畿地方→max50 名）
- 調査項目
  - <継続>
    - ・環境省アンケート（平成 26 年度分の精査・平成 27 年度実施予定の分析）
    - ・自治体及び事業者へのヒアリング（防災計画策定自治体の処理計画との連携）
    - ・各自治体における民間を含む災害時相互協力協定の内容精査
  - <新規>
    - ・廃棄物処理施設（一廃・産廃・その他）の DB 化とマッピング  
（民間施設を含めた受け入れ態勢の詳細を把握）
    - ・仮置場（候補地含む）の DB 化（国有地を含む）とマッピング
    - ・処理困難物及び有害物取り扱い施設へのヒアリング及び DB 化とマッピング
    - ・防災計画からの交通網整備状況（自衛隊・国交省・海上保安庁等）の図式化
    - ・災害廃棄物の再生利用先の DB 化（セメント・再生ボード等）

以上の調査項目結果等を活用し、自治体における廃棄物処理計画の策定に繋げたい。  
また、平成 28 年度以降の協議会の在り方についても、年度末を目途に意見調整を図りたい。